

# 4 がっひかりごう

平成 30 年 4 月 1 日 輝 保 育 園

ご入園、ご進級おめでとうございます。桜の花も咲き誇り心華やぐ季節になりました。今年度は新入園児 18 名、在園児 77 名、計 95 名のスタートです。子ども達は、新しく迎えた園生活に期待感一杯です。しかし、その一方で緊張感や不安も感じています。安心して園生活が送れる様に、一人ひとりに細やかに関わっていきます。また、友達や職員と一緒に遊ぶ経験を広げながら、身の周りのいろんな事への興味関心、活動への意欲を育てていきたいと考えています。これから一年間、ご支援とご協力をお願いいたします。

## 【【 登園前のチェック 】】

- ・「朝の目覚め」はどうでしたか？
- ・「朝ごはん」は食べましたか？
- ・「顔色」はいいですか？
- ・「機嫌」はいいですか？

新しい生活が始まり、緊張や慣れないことが続く疲れがたまってきます。

お子さんの様子がいつもと変わっているような場合は、保育士にお伝え下さい。

無理をさせず、ゆっくりお家で過ごすことも大事です。



## ★ お 願 い ★

11 日（内科検診）と 18 日（歯科検診）は、可能な限り欠席しないようお願いいたします。

## = 4 月の行事予定

- 2 日（月） 入園式（10:00 ～）
- 5 日（木） 避難訓練
- 11 日（水） 内科検診
- 18 日（水） 歯科検診
- 19 日（木） 身体測定、お誕生会



## = ナース・レポート =

過日は、予防接種記録表の記入ありがとうございました。

乳幼児の感染症の中でも重症となる病気は、予防接種で防止できることがあります。

本人の為の個人防衛であると同時に、多くの子が接種することで、集団での防衛ともなります。

予防接種と聞くと副反応が心配と消極的になっておられる方もいるようですが、現在日本で使用されているワクチンは、副反応の頻度も少ないものです。

しかし、人間の体の性質は一人ひとり違うことから、副反応が出る人もいます。

程度はいろいろですが、大切なことは、お子さんの体のことをよく分かっているかかりつけの医師に体調をよく診てもらい、接種が可能であるかを判断していただくのがいちばん良いと思います。

地域によっては集団接種のところもありますが、その場合には、接種会場で医師によく相談した上で、予防接種を受けるかどうか判断しましょう。

また、予防接種後の経過観察はとても重要です。

接種後はご家庭で安静に過ごしましょう。

園には接種した日付、内容をお知らせください。

## 《《《 お 願 い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. 投薬依頼がある場合は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

## ☆☆ コミュニケーション ☆☆

～ 大人の関わり方（ほめ方）② ～

2. ほめ上手な大人であるために  
ポイント 1

日頃から子どもの良さに気づこうと意識する。

どこにでもある木々や草花、鳥の鳴き声一、目や耳に入ってはいても、意識しておかないと詳しくは認識できません。

目につきやすい子どもの気になるところや直したところばかりではなく、日頃からちょっとした伸びや良さに気づこうと意識しておく、ほめるべきところがどの子どもにもたくさんあることが見えてきます。

ポイント 2

子どものちょっとした伸びや良さを捉えてほめる

子どもの日々の成長を意識的に捉え、些細なことでも、大人の感覚で当たり前のことと捉えず、積極的にほめましょう。

例えば「大きな声で返事ができた」、「言われなくても玩具をかたずけた」、「お手伝いをしてくれた」、等、日常生活の中にはたくさんあります。



「教育力向上福岡県民運動  
ホームページ」より抜粋

# こ ども の よ う す

たんぽぽぐみ  
0 才児



桜も満開を迎え春うららかな陽気に包まれ、新年度がスタートしました。今年度は、子ども達がどんな姿をみせてくれるかとても楽しみです。0才児でのこの1年は愛着の育みを第一に取り組んでいきます。愛着とは、特定の大人との間に安定した信頼関係が築かれることで、乳児期から幼児初期に形成されるといわれています。何かを訴える赤ちゃんの要求にきちんと答える事で赤ちゃんは安心感を覚え、人を信じる心が芽生えていきます。人を信じ、心から安心し、この人がいれば大丈夫という心の基盤を作るものです。これから保育園で生活する中で、私達は、子ども達にとって一番身近で気持ちを理解することができる、その思いに寄り添える存在でありたいと思います。そして、何か心配な事や分からない事があれば気軽に声掛け下さい。

たんぽぽぐみ  
1 才児



今年度は、在園児 8 名、新入園児 7 名の 15 名でのスタートです。もうすぐ 2 才を迎える子から、1 才になったばかりの子まで幅広くいます。1 才の頃は、自我が芽生え、拡大していく時期です。自己主張も強くなってきます。子どもの主張をしっかり受け止める事を大切にかかわっていきます。その中でも、してはいけない事（危険なことや人を怪我させる事）はしっかり伝え、善悪を伝えていきます。また、身の回りの事を自分でしようとする事も増えてきます。子どもの自分でしたいという思いを大切に、さり気なく援助したり、方法を知らせたりして、自分で出来たという喜びを感じ、次への意欲に繋がるようかかわっていきます。保育者や友達と一緒に生活したり、遊んだりする中で、たくさん楽しい経験をしていきたいと考えています。

すみれぐみ  
2 才児



新しいお友達が加わり、18 人でのスタートです。4 月は進級児にとっても、新入園児にとっても新しい生活が始まり、不安の多い毎日になります。そんな子ども達の気持ちをしっかり受け止め、少しでも早く園生活に慣れ、楽しく毎日が過ごせるよう関わりを深めていきます。2 才という年齢は、自分の好きな物へのこだわりも強くなりトラブルも多くなります。友だちとのぶつかり合いを経験しながら、相手の思いに気付くことができるようになり、遊びの中で自己主張を持ちながらも、他者を受容する社会性が確実に育ってきます。お互いの思いを言葉にしなが、友だちの存在に気付けるよう見守っていきます。身辺自立の面では、食事、排泄、着脱などの基本的な生活習慣が自立できるようになります。一年間、よろしくお願い致します。

ちゅうりっぷぐみ  
3 才児



いよいよお兄ちゃんお姉ちゃんの仲間入りです。3 才から 4 才を迎えるこの時期は、「基礎固めの時期」です。全身を使った運動や手指を操作する力が発達し、それらに支えられて毎日の基本的な生活習慣が確立していきます。健全な生活を送る為に、習得しておくべき事柄です。これらの習慣が自立していくには、周囲の大人の協力が必要ですが、この場合の協力とは必要以上の手助けをせず、子どもが自分でできるように見守る事です。手助けを減らして、身の回りの事にどんどん挑戦させましょう。少しでも出来たら、大げさなくらい褒めちぎりましょう。認められる事で、子ども自身に「もう赤ちゃん組じゃない」という自覚と「できた！」という自信が生まれる事を期待しています。気になる事や不安な事がある時はいつでも声を掛けて下さい。

ばらぐみ  
4 才児



ご進級、ご入園おめでとうございます。4 才から 5 才を迎えるこの時期は、「自律：心を律する時期」であり、社会性を身に付けていく大切な 1 年です。友達関係では、仲間とのつながりが強くなる一方で、お互いの主張がぶつかり合い、自分の思い通りにならない経験をしながら、決まりの大切さに気付き、守ろうとするようになります。4 才後半になると自制心も芽生え、少しずつ自分の気持ちを抑えたり、我慢もできるようになってきますが、その過程には、周りの大人の温かいまなざしや言葉かけ、何よりも「自分が受け止められている」という安心感が欠かせません。子ども達の気持ちに寄り添い、時には前から手を差し伸べ、時には後ろから後押ししながら、様々な経験を通して一人ひとりの前向きな気持ちや意欲を育てていきます。一年間、宜しくお願い致します。

ひまわりぐみ  
5 才児



今年度の「ひまわり組」は進級児 18 名でのスタートです。年長組は園生活最後の年です。就学に向け、生活リズム（早起き、早寝、朝ごはん、排便の習慣）を整え、自分の事は自分でできるように取り組んでいきます。また、この一年間でいろいろな事に興味を持ち、挑戦したり自分達で工夫して取り組んだり、さまざまな人との関わりを通して豊かな心を養い、生きる力を育てていきます。入園式では自分たちで振り付けを考え「さんぽ」と「えいようのうた」を発表します。一番大きなクラスとしての発表に喜びと緊張がありますが、やる気は十分です。これから、自分達で新しい生活の場を整えて、活動に取り組むことで年長児としての自信や意欲に繋げていきます。困った事や質問がありましたら、気軽にお知らせ下さい。一年間よろしくお願い致します。